

第6学年 授業改善推進プラン

	児童の実態から見える 指導方法の課題(重点項目)	具体的な授業改善策	○成果と▲課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○話の中心を考えながら聞くこと、伝えたい内容を整理して話すことができるようにする。 ○読み手を意識し、順序立てた構成のある文を書かせる。 ○丁寧に力強い字を書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中心に気を付けて聞き、感想・疑問をもてるように声かけを行う。 ・話す内容の中心を定め、その根拠を述べたり、自らの主張を述べたりするよう指導する。 ・文章全体の構成を考えて、順序立てて書かせる。 ・友達と積極的に交流する場を設け、意見交換を行うようにする。 ・「とめ・はね・はらい」を常に意識させる。漢字だけでなく、平仮名を丁寧に書くよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数グループによる考えの共有や話し合い活動を積極的に取り入れたことで、自分の考えと友達の考えを比較するなどした学びが充実した。 ●筋道立てた文章を書くこと、丁寧な字を書くことについては、個人差が大きく、定着とまではいかなかった。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の理解を深める指導方法を工夫する。 ○資料を活用しながら、自ら学んでいこうとする態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや視聴覚教材を使った資料集めや効果的な資料提示を行う。 ・ノート指導を充実させ、学習したことについて、感想や疑問を常に書くよう指導する。 ・資料から、その特徴や考察をノートやワークシートに書く指導を繰り返し行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎時間ノートに振り返りを書かせることで、学習内容に迫る記述が増えた。 ●資料収集がインターネットに依存することが多く、信憑性に欠けることがあった。 ●資料集は、視覚教材としての利用にとどまっていた。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決学習のプロセスを徹底し、他教科との関連を図る。 ○多様な考え方や表現の仕方や捉え方ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題把握→自力解決→集団討論→まとめという流れを意識した授業展開を常に心がける。 ・いくつかの方法で問題を解いたり、様々な解き方を説明したりする授業を展開する。 ・友達の考えを大切に、自分の考えと比較するなどして多様な考えに触れる場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての単元を通して、授業展開を統一することで、児童が見通しをもって学習に取り組むことができた。 ●共有の場を設けることは多かったものの、どこまで考えが深まったかは判断できない。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら課題をもち、実証していくような学習のプロセスを定着させる。 ○科学的に考察し、説明する力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題、方法、予想、実験(観察)結果、考察という問題解決の流れを明確にし、主体的な学習の流れを目指す。 ・予想に対しての根拠や、結果に対しての自分なりの考察を述べさせ、友達と共有していく場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に対して、予想の根拠を述べることで、児童自らの課題意識が芽生えた。 ●意欲的に実験に取り組むものの、結果を自分の言葉で考察する時間の確保が不十分であった。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○運動への意欲を高める。 ○友達とお互いに学び合う授業の中から、自身の技能の高まりを実感させる。 ○主体的な学習態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能ポイントを明確にし、具体的な声かけや、模範演技を取り入れる。 ・学習形態やルールを工夫しながら、運動が苦手な児童も楽しんで学習できるようにする。 ・学習カードを活用し、見合い、教え合いの視点を明確にする。 ・ペア、トリオ、チームを作り、お互いに意欲を高めていけるよう声かけを行う。 ・ルールや場の設定を自分たちで改定していくという視点に立って授業を展開していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○男女限らず、体育の学習に大変意欲的に取り組むことができた。 ○技能に差があっても、ルールを自分たちで工夫しながら主体的に学ぶ姿がみられた。 ●友達と協力することはできたが、お互いに高めていこうとする姿勢には課題が残った。 ●学習カードを活用できなかった。
総合	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に調べ進めていこうとする態度を育成する。 ○学習したことを、自分の将来に役立たせようとする態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の意欲を高めるテーマの設定を行う。 ・外部講師を活用するなどして、より幅の広い指導を行う。 ・発表の仕方を工夫し、より多くの人の考えや情報を共有できるようにする。 ・「自らの人生に生かす」視点を常にもつことができるようワークシートを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が追求していききたいテーマを自分の力で見出す時間を確保することができた。 ●インターネットによる情報収集に偏ってしまった。 ●発表形式は、改善・工夫の余地がある。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○学習したことを、自らの生活に生かすことができるような指導方法、授業展開を工夫する。(今年度研究教科) 	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り、児童の実態に合った資料を選択し、自分事として捉えることができるようにする。 ・資料提示や学習形態、発問などを工夫し、児童同士の関わりをもたせる授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童同士の関わり合いを積極的に取り入れることができた。 ●道徳で学習したことを、日常生活に生かしていこうとする意識は不十分である。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語に親しむ。 ○言語や文化の違いを実感できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が積極的に英語を発音することができるよう、授業展開を工夫する。 ・日本との違いに着目させ、習慣や行事などに興味をもたせる機会を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTに頼らない授業展開を実践することができた。 ●授業中に、教師が英語を使う場面が少なかった。

